



経済産業大臣賞

東京都

羽藤 晋氏

株式会社セルージョン 代表取締役社長 CEO

セルージョンはiPS細胞を利用した新しい角膜再生医療を創出することで、角膜移植アンメットメディカルニーズを解決し、全世界の角膜失明患者への貢献をめざしています。



中小企業庁長官賞

大阪府

後藤 将氏

TYPICA Holdings 株式会社 代表取締役CEO

コーヒー生豆を麻袋1袋から直接取引できる世界初のダイレクトトレード・オンラインプラットフォームを運営。世界71カ国・地域の生産者とロースターをつないでいる。



中小機構理事長賞

大阪府

上野 公嗣氏

BABY JOB株式会社 代表取締役社長

子育て支援サービスの提供
・保育施設向けおむつとおしりふきのサブスク「手ぶら登園」
・保育施設探しをサポートする「えんさがそっ」



SDGs特別賞

東京都

徳島 泰氏

インスタリム株式会社 代表取締役CEO

3D x AIによる、超低価格・高品質な義足・義肢装具のデジタル製造ソリューションの開発と、インド・フィリピンにおけるデジタル製造の義足・義肢装具の製造・販売。



地域貢献特別賞

徳島県

近藤 洋祐氏

株式会社電脳交通 代表取締役社長 CEO

・クラウド型タクシー配車システム「DS」
・タクシー会社の配車業務受託運営サービス「Taxi CC」
・自治体向けデマンド交通運行管理システム「DS Demand」



JVA審査委員会特別賞

東京都

佐藤 康行氏

株式会社フロンティア・フィールド 代表取締役社長兼CEO

医療専用スマートフォン「日病モバイル」を展開。ナースコール受信、医療情報基盤として電子カルテ・医療機器等のアプリケーションを搭載でき、医療業務のDXを促進。



科学技術 政策担当大臣賞

東京都

沖山 翔氏

アイリス株式会社 代表取締役

AI技術を用いた医療機器の開発・製造・販売及び人工知能(AI)技術の研究開発。2022年12月に感染症AI判定機器 nodocaの発売・保険適用が開始。



中小企業庁長官賞

東京都

島津 敦好氏

株式会社カウリス 代表取締役

不正アクセス検知サービス「Fraud Alert」の開発・提供。



SDGs特別賞

東京都

清水 映輔氏

OUI Inc.(株式会社OUI) 代表取締役

・スマホ眼科診断医療機器「Smart Eye Camera」開発と販売
・遠隔診療・自動診断AI医療機器の開発と販売
・眼科の知識の啓発事業



地域貢献特別賞

宮城県

小林 稜平氏

株式会社ElevationSpace 代表取締役CEO

国内民間企業初の大気圏再突入技術獲得により、宇宙で実証・実験→地球に帰還→回収可能な無人小型衛星による宇宙環境利用・回収プラットフォーム「ELS-R」を提供。



JVA審査委員会特別賞

東京都

池原 真佐子氏

株式会社 Mentor For 代表取締役

リーダー・人生経験が豊富なミドルシニアを「社外メンター」へ育成、女性管理職を育成したいものの社内にロールモデル・メンターが不在の企業へマッチングし、D&Iを推進。



JVCA特別奨励賞

茨城県

鈴木 裕士氏

株式会社エマルジョンフローテクノロジー 代表取締役社長

革新的溶媒抽出技術エマルジョンフローを活用したリチウムイオン電池のレアメタルリサイクル技術の開発と、それを活用したレアメタルリサイクル事業。

ベンチャーキャピタリスト奨励賞



伊藤 紀行氏

DIMENSION株式会社
Business Producer

ライフスタイル、エンタメ、海外展開を目指すビジネスを軸に、顧客の強いニーズを捉えた全国のスタートアップに出資しています。また、新事業創出の知見発信のため、経営大学院の「ベンチャー戦略」クラスに登壇、拙著「起業の実践論」も出版しました。出資先カバリー社のように、世界を目指す志高い企業を支援していきます。



宇佐美 篤氏

株式会社東京大学
エッジキャピタル
パートナーズ(UTEC)
Partner and Board Director

国内外の大学・研究機関開発のシード・アーリーステージの技術系スタートアップに対して、経営・開発・ファイナンス等の観点で創業段階からの事業化支援を行う。優れたScience・Technologyをもつスタートアップの国境を超えた事業化支援を通じて、地球規模での産業革新・社会課題解決に貢献していきたい。



福井 俊平氏

Archetype Ventures
Managing Partner

2014年にB2B Tech特化型のFundを立ち上げ投資支援活動を開始。現在4つのファンドを運用し累計50社弱に投資支援を実行。定例ミーティングを持ちながら伴走するスタイルをとり、Bad News Firstで起業家と最も近い距離でのご支援をベースとしています。